



広域化による計画的な補修・更新の体制整備

平地農業地域

もんじゅ

ふくいし

文殊農地・水・環境保全管理協定（福井県福井市）

- 本組織は、福井市南部に位置する地域にあり、11集落が参加する広域組織。地域内の農業用施設は、造成後30年以上が経過し、老朽化による用水路からの漏水などにより、営農活動に支障を来している。
- 施設の補修・更新は、策定した地域資源保全プランに基づき、実施内容・年度・費用を調整。また、広域化により自主施工の体制強化が図られ簡易な補修は、自主施工により実施。補修技術を持つ構成員が、他集落の支援や技術指導を行っている。
- 広域化により重点整備が可能となり、単集落で行う場合と比べ、1路線当りの整備期間が短縮。

【地区概要】

- ・取組面積 388ha(田385ha、畑3ha)
 - ・資源量
開水路68.0km、パイプライン 34.9km、農道26.9km
 - ・主な構成員
農業者、自治会、土地改良区
 - ・交付金 約28百万円(H29)
- 〔 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

活動開始前の状況や課題

- 地区内の水路は、造成後30年以上が経過し、老朽化が進行。
- 用水路は破損部からの漏水や不同沈下、排水路はアーム柵渠の破損による法面崩壊や背面土の吸い出しが発生し、維持管理負担の増加が、営農活動を阻害。



既設水路の劣化状況

取組内容

【地域資源保全プランの策定】

- ・計画的な補修・更新のため、平成24年度に策定。
- ・施設毎の機能診断結果に基づく補修内容、実施年度、概算事業費を明確化。
また、資金計画や関係土地改良区との連携などの実施体制も取りまとめ。

【自主施工の実施】

- ・水路の目地詰めなど簡易な補修は、自主施工により実施し、コスト削減。
- ・補修技術を持つ構成員が他集落の支援や技術指導のため講習会を実施。



自主施工による目地補修

二次製品水路敷設

取組の効果

【補修計画の円滑化】

- ・地域資源保全プランの策定により、集落境界箇所との路線の連続整備、補修・更新箇所の選択と集中などの集落間の調整が円滑化。

【施工期間の短縮】

- ・広域化により重点整備が可能となり、1路線当りの整備期間が短縮。

1路線あたりの施工期間:2カ年
単集落で行う場合 :3カ年(試算)

【自主施工の実施状況】

- ・補修技術を持つ構成員の支援により、補修技術が向上し、地域全体で自主施工の実施が可能な体制整備を促進。

- ・講習会参加人数(H26年度)
146名(7集落/11集落)